

令和8年度

学校推薦型選抜・社会人選抜問題用紙

小論文

(120分)

注意事項

- 1 監督員の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、指定された解答用紙に記入すること。
- 3 すべての解答用紙の所定の場所に受験番号を記入すること。
- 4 問題用紙は、6頁まであります。

第1問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(令和7年版情報通信白書、第1章第2節より抜粋、一部改変)

問1 生成 AI を使っていない人の主な理由は何か。文章の内容に基づいて、代表的な理由を一つ挙げ、30字以内で説明しなさい。

問2 「生成 AI を活用すれば業務効率化できる」という主張において、「生成 AI の活用」は業務効率化の必要条件か、十分条件かを判断し、その理由を200字以内で説明しなさい。

問3 文章では、日本は他国と比べて生成 AI の導入がやや遅れているとされている。なぜ日本企業の生成 AI 導入率が他国より低い傾向にあるか、文章の内容を参考にしながら、あなたの意見を加えて200字以内で述べなさい。

第2問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(広瀬浩二郎『世界はさわらないとわからない 「ユニバーサル・ミュージアム」とは何か』、平凡社、2022年より抜粋、一部改変)

(注1)筆者の考えに基づく記載。

(注2) 得暗(とくあん)：筆者の造語。失明とは、明を失うと同時に暗を得る効能を人間にもたらず、という考え。

問1 筆者は「インクルーシブ」「アクセシブル」「ユニバーサル」という三つの言葉を紹介している。その中で、「ユニバーサル」が他の二つと異なる点は何か。本文に基づいて50字以内で答えなさい。

問2 筆者は「触覚的な学び」を通して子どもたちが「感覚の多様性」に気づくことが重要だと述べている。そうした気づきが、どのように「誰もが参加しやすい社会＝ユニバーサルな社会」の実現につながるか。筆者の主張をふまえ、あなたの考えを300字以内で述べなさい。